

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18018	1	前期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	生物Ⅱ (Basic Biology Ⅱ)				
担当教員名	高野 海哉				
授業の概要及び到達目標					
<p>【概要】 医療系の大学・学部である以上、専門職の対象が人体であり、その人体は生物学的な特徴の元に成り立っている。したがって、看護学を学んでいくうえで必要最低限の生物学的知識を身につける必要がある。生物Ⅰでは細胞に関する事項を取り扱ったので、本科目では生殖にかかわる特殊な細胞と個体の発生、細胞によって構成される組織と、組織が集まって構成される器官系について概説していく。さらに、器官系が機能的に連関して一個体を成り立たせている仕組みや、人体の発生についても講義する。</p> <p>【目標】 医療を学ぶ基本として必要な生物学を理解すること。医療を学ぶ学生として、生物学など科学的な知識の必要性を認識すること。</p>					
準備学習等					
<p>【受講する準備（予習）：講義1回につき30分】 講義は次ページの「授業計画」に沿って行う予定である。予め講義前に配布される「講義テキスト」で、次回予定内容の該当項目を一読し、大まかな内容を把握しておくことが望ましい。</p> <p>【受講】 講義は授業形式で行われる。授業を受けた内容を「講義テキスト」にメモを取るなどして記録するようにし、後に復習できるようにする。</p> <p>【受講後の復習：講義1回につき60分】 授業で「講義テキスト」に書き込んだメモなどを整理し、内容理解に努める。その際、購入した参考図書の該当項目も読み、授業内容に追加すると理解が深まる。この段階で疑問点が生じた場合は、図書館で下記「参考図書」に当たって調べるか、担当教員に質問して問題解決を図る。</p>					
成績評価の方法	筆記試験：100%				
テキスト	初回授業で配布する講義テキストを用いて授業を行う				
参考図書	高等学校で生物を履修した学生は、高等学校で用いていた生物の教科書・資料集が有効です。自己学習に活用してください。高等学校で生物を履修してこなかった学生向けの参考図書として、「改訂版 視覚でとらえる フォトサイエンス 生物図録（鈴木孝仁 監修 数研出版）」がおすすめです。				
備考	高等学校で「生物」を履修していない学生は、今後の専門科目の学習において有用な知識となりますので、是非履修してください。また、高等学校で「生物」を履修した学生も、本科目で授業する内容は高等学校で学習した内容と異なりますので、今後の専門科目の学習のためにも履修をお勧めします。 ・オフィスアワー：質問は講義の後に直接お願いします。また、メール (k-takano@thcu.ac.jp) ではいつでも受け付けております。				

授 業 計 画

第1回：減数分裂

減数分裂の意義

減数分裂の過程

減数分裂による染色体の変化

第2回：ヒトの受精と胚発生

第3回：ヒトの期間発生と胎児の発育

第4回：酸素を生体内に取り込む仕組み（呼吸器系の特徴）

第5回：体液の意義・体液を循環させる仕組み（循環器系の特徴）

第6回：栄養素を生体内に取り込む仕組み（消化器系の特徴）

第7回：体内の不要な物質を体外に排出する仕組み（腎泌尿器系の特徴）

第8回：動物としての身体を動かすための器官系の概要（神経系と運動器系）

※授業の進捗によって予定は変更となることがあります。